

発行：自由民主党神戸市会議員団 兵庫県神戸市中央区加納町6丁目5-1 TEL.078-322-5846

R5年度決算について 質疑しました。



◀ 環境局審査



▲ 水道局審査



詳しくは中面をご覧ください

ご挨拶

お世話になります、山口由美です。

落ち着いた日々を送る間に、今年も残りわずかとなりました。皆様はいかがお過ごしでしょうか。使命感を持って引き受けた仕事により、心を病むことにつながった経験のある私としては、正直なところ、今の社会に対して不安を感じます。事の大小に関わらず、人の心や気持ちには敏感でありたいと思います。そして市民の皆様々に安心していただけるような取り組みをこれからも粘り強く進めていきます。

今後ともご指導よろしくお願いいたします。



神戸市会議員

作成者

山口 由美

西区選出5期目

ご意見・
ご感想は…

山口由美市政事務所 TEL/FAX 078-777-6933
E-mail. yamaguchi@yumiguma.com

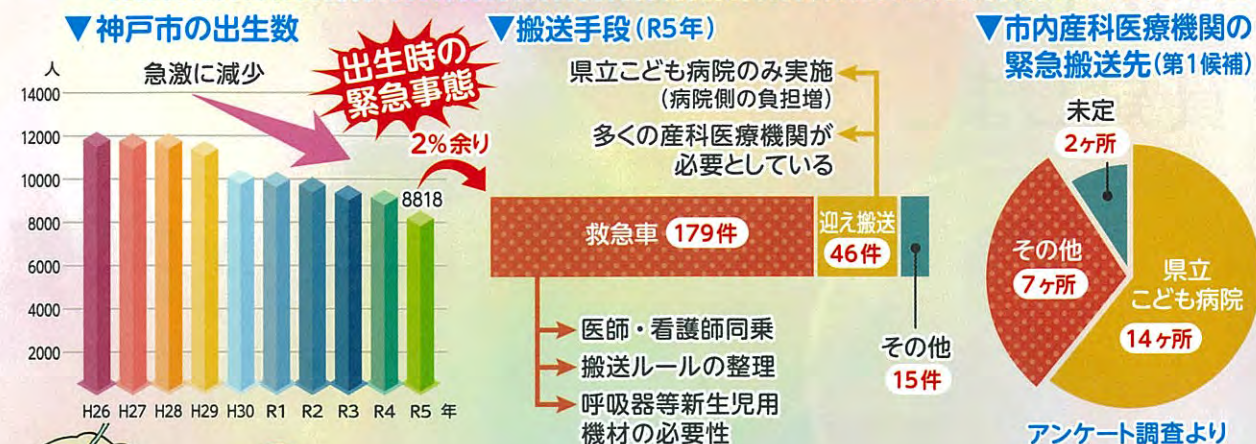


Topics

1

山口由美の市政への提案

1 新生児の緊急搬送



生まれてきてくれた大切な命。その命を神戸市として守るための体制作りをお願いします。

山口

ルールや考え方を整理して
体制構築を目指します。

健康局長

2 精神科医療



▼神戸市内の医療体制

精神科クリニック

一般病院(精神科併設)

精神科病院

西市民病院

中央市民病院

県立ひょうごこころの医療センター

神戸大学附属病院

課題

- 身体疾患を併発した方の受け入れ
- 身体疾患治療中に精神疾患を併発
または認知した方の対応
- 精神疾患の方の看取り

公立病院の役割・
民間病院との
役割分担は？

精神科医療を必要とする人は年々
増加。医療機関の役割分担を整理し、必要な人が適切な医療機
関につながる体制が必要です。

山口

3

障がい・難病の大学生支援

市立小学校 中学校 高等学校	ノートテイク等 学業に関するヘルプ	食事・お手洗い等 身体介助に関するヘルプ	ガーゼ交換等 医療的ケア	通学 (自力通学不可の場合)
大学等 高等教育 機関	学校在籍の 教員・支援員	訪問看護 ステーションの看護師 (教育委員会制度)	保護者	保護者
	学生ボランティア	外部ヘルパー (福祉局制度) ※不足の場合あり	保護者	送迎業者 (福祉局制度) 保護者

大学に通う障がい学生は、こ
こ10年で4倍以上に。学生・
大学それぞれに支援が必要
です。国には制度改善、
神戸市には国の制度
が整うまでの間の支援
をお願いします。

山口

4

水道事業における障がい者の就労



山口

今、外部委託している水道メーター検針業務など、
短時間で働ける障がい者の方をお願いする
など新しい雇用を検討してはどうでしょうか？



山口

水道メーターの分解作業を障がい福祉事業所に委
託したことがあるようです。再検討できませんか？

委託業務に障がい者の雇用促進を呼
びかけるとともに、研究・検討を続け
ていきます。

水道局
副局長

検討させていただきます。



水道局長



▲水道メーター分解作業(神奈川HPより)

神奈川県・大阪府堺市でも取り組み継続中!

障害者活躍推進計画(R2~7)抜粋

国等による障害者就労施設等からの
物品等の調達の推進等に関する
法律に基づく障害者就労施設等
への発注を通じて、障害者の活
躍の場の拡大を推進する。



5

その他(決算特別委員会の質疑抜粋)

1

西神戸医療センターの再整備

2

神戸市看護大学の
ハラスメント対応のための
学外相談窓口の設置

3

河川管理のあり方
県と市の役割分担・
神戸市の担当局の整理

4

単独処理浄化槽の
合併処理浄化槽への転換促進

Topics

2

神戸の素敵な取り組みの紹介

1

「神戸市×WheeLog!」バリアフリーマップ

みんなで
つくろう!!

障がい当事者が運営する民間
団体と連携したバリアフリーマッ
プが公開。ぜひご協力ください



山口

もしご興味があれば
こちらをご覧ください



2

神戸フォント

KOBEFONT

神戸フォントとは、神戸市で働き・暮ら
す障がいのある方と、デザイナーやデザ
イナーを目指す学生の共創による文字
やイラストのグラフィックデータです。



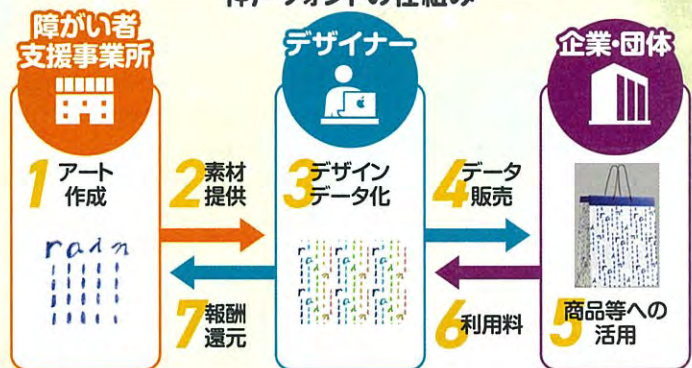
詳細はこちら

ぜひとも皆様にも
ご活用いただきた
いです。



山口

— 神戸フォントの仕組み —



Topics

3

震災30年の取り組み

震災と未来のこうべ博(仮称)

2025年4月26日～27日
メイン会場:KIITO

グローバルカンファレンス

2025年4月28日

産官学連携のもと、子ども向けワー
クショップや、VR・実験装置を使用し
た体験コーナー、進化した防災テク
ロロジーを体感できる展示ブースなど、
幅広い企画を通して防災・減災につ
いて学び、考える機会を提供

海外の主要都市を招聘した「グローバ
ルカンファレンス」を開催し、様々な災
害への備えや気候変動対策について
意見交換を行うとともに、その成果を
国内外に発信

BE KOBE

震災30年を 未来につなぐ

改めて震災で犠牲になられ
た方々のご冥福を祈りながら、
神戸市の経験や教訓を未来
につなげていきたいです。



山口



VR災害体験

防潮堤

震災語り部

大容量送水管



令和6年度主な諸役

総務財政委員会 委員

未来都市創造に関する特別委員会 委員



こども家庭局 令和6年9月27日

坊池 正

ぼういけ ただし



ご挨拶

新春のお喜びを申し上げます。令和6年度の市会では、微弱ですが私の指摘や要望により事案が見直しされ、より良い市民サービスを提供できるものになりました。

まずは、神戸市の全児童館にて、18歳未満のすべての子どもと親が利用できる「子育ての相談」「子育てチーフアドバイザー」「中高生の居場所」などが区役所だけでなく、西区19か所の児童館に設置され、より身近なサービスとなりました。現在、児童館実施プログラムの情報発信整備を要望しております。

また、今年は阪神淡路大震災30年目を迎え、去年の能登半島地震での反省を踏まえ、初動救助活動、物資輸送に関して、現在、全市を挙げて総点検を行っているところですが、災害発生時から一週間は「市民備蓄」が重要となり、「日頃からの蓄え」を再確認して頂きたいと思っております。

次に救急時での「#7119」救急安心センターの認知度、使用頻度が高まり、一時コロナ禍で回線が繋がりにくいことが御座いましたが、回線、人員を増やし繁忙期でも対応できる環境に整え、不適切な受診案内を防止するために、わかりやすく安全安心な案内ができるように案内を改正しました。

最後に、近年重要視されるリハビリですが、病院から病院、そして自宅でのリハビリ情報が途切れることにより、一貫したリハビリが出来ないため、リアルタイム共有できるシステムの構築や、要介護者等でない方でも使用できるリハビリジム、心疾患・呼吸器疾患専門のリハビリ病院を開院し、民間ではなかなかできない事を試行錯誤しながら試験的に進めております。

この度の市政報告は、以上の内容でございますが、ご一読して頂けたら幸いです。

神戸市議員 坊池 正

「子育てチーフアドバイザー」配置
児童館 全館で子育て相談が出来る！

Q 坊池 正 (こども家庭局) 令和6年9月27日

児童館「こどもっとひろば」は、月曜日から土曜日の午前9時30分から午後5時まで開館しており、0歳から18歳までの子どもや保護者が自由に利用でき、身近な地域にある施設で、市内全域に120館ある児童館は本市の子ども・子育て施策の強みであると考えております。

令和5年度から児童館の特性を生かした事業を試行的に実施し、さらなる活用に取り組んで頂いておりますが、その中でも、来館者が常時「子育て相談」ができる体制を、今年度より乳幼児親子の子育て支援を主な業務とする常勤の「子育てチーフアドバイザー」を全館に配置したとのことでありますが、その活動は配置の目的に沿ったものとなっているのかお伺いをいたします。

A 中山こども家庭局長

家庭や地域で、孤立した育児、不安や悩みを抱えている家庭も増え、支援強化が求められ、令和6年度に全館に子育てチーフアドバイザーを配置しました。子育てチーフアドバイザーは、乳幼児や保護者のニーズや関心に応じたプログラムを企画・実施をし、児童館に気軽に足を運んでもらう中で、保護者が困り事や悩みを相談しやすい関係づくりを進め、相談内容に応じてアドバイスや子育て支援情報を提供し、仲間づくりをサポートするとともに、必要に応じて区役所や保健師、歯科衛生士、保育士などと連携を

したプログラムなども実施をしているところでございます。

配置して半年余りですが、これまでに3,000件近くの相談がございました。

利用者アンケートでは、チーフアドバイザーが児童館にいることで見守りを身近に感じられ安心感がある、区役所に行かなくても相談ができる、乳幼児向けのプログラムが充実し、利用できる日も増えたと、好意的な意見を頂いております。来館者につきましても、8月末時点でございますけれども、昨年末と比較しまして16%増加をしております、目的に沿った活動が行えているのではないかと考えております。

こどもっとひろば【児童館】

0歳から18歳まで使える親子で遊べる施設です!!

開館 AM9:30 ~ PM17:00 (日曜・祝日・年末年始を除く)



子育て
相談



授乳
スペース



外遊び



図書室



中高生
スペース



Free
Wi-Fi

西区の「こどもっとひろば」

秋葉台児童館	岩岡児童館	神出児童館	櫛谷児童館
有瀬児童館	枝吉児童館	太山寺児童館	平野児童館
伊川谷児童館	押部谷児童館	竹の台児童館	美賀多児童館
井吹台児童館	春日台児童館	玉津児童館	あさひ児童館
井吹西児童館	狩場台児童館	玉津北児童館	

Q 坊池 正（一般質問）令和6年3月26日

能登半島での災害は、国も含め、地震に対する初動救助活動や物資輸送は十分に行えていなかったと感じています。

神戸でも同様の事態が起こり得る可能性は十分にありますが、どのような課題があると考えておられるのか。

また死を分ける「72時間の壁」に対応するには、道路の寸断なども想定した上で、緊急消防援助隊（救助チーム）と災害派遣チーム（医療機関）、DMATなどの医療チームの連携体制、構築が重要ではないかと考えますがいかがでしょうか。

A 久元市長

能登半島地震地域の課題について神戸市では、初動期における物資輸送や備蓄体制、国や他の自治体からの受援体制、要援護者対策や民間企業の活用、実効性の確保を図るべく神戸市全体を挙げて総点検を行うこととしております。

令和6年度、若手の職員を中心に、大規模災害の対応を学ぶ図上訓練を実施し、その上で全職員を対象に、勤務時間外に南海トラフ地震が発生したことを想定した実動訓練を実施し、職員の初動体制が機能するかどうか確認・検証を考えております。

また、72時間の壁に関しては、災害派遣チーム（医療機関）と緊急消防援助隊（救助チーム）とは日頃より研修や訓練で連携を図っておりまして、有事の際には速やかな連携活動が行えるように取り組んでおります。

神戸市 地震・津波対策 主な応急対策事項

発災後～72時間以内



災害時20万人/3日間を想定した備え

神戸市の災害備蓄体制は大丈夫か！？

Q 坊池 正（一般質問）令和6年3月26日

阪神・淡路大震災の際には、西区、北区から各区へ白菜・ニンジンなどの野菜や米の供給、また簡易水道の水をミキサー車で運搬するなどの工夫もされていました。大規模災害時には食料や飲料水などの迅速な供給も非常に重要であり、29年前のような体制が現在も確保できているのか。

神戸市地域防災計画では、災害時約20万人を想定した備えを、指定業者等からの流通備蓄等により総合的な備蓄体制を確立し、災害発生後の3日間の食料を確保するとされていますが、より盤石な供給体制を強化・構築することが重要であると考えます。JA等とのさらなる連携も含め、具体的にどのような緊急時の食料等の供給を予定されているのか伺います。

A 今西副市長

神戸市の災害備蓄体制は、①市民による非常持ち出し品・非常備蓄品による市民備蓄、②市内の避難所や各備蓄拠点での現物備蓄、③協定締結している指定事業者等からの流通備蓄、④国や他の地方公共団体等からの救援物資の4点による総合的な備蓄体制を確立し、災害発生後の3日間の食料などを確保しています。

本市の現物備蓄は、調理不要で食べられるリゾットやクッキーを含めた食料など、小・中学校などの避難所 市内318か所の地域備蓄拠点と大規模に集中して備蓄する市内14か所の総合備蓄拠点到保管し、必要とする被災者に対してスムーズに提供できるようにしているところです。

阪神・淡路大震災では、協定締結していたコープこうべから被災初日より食料・物資を調達することができました。現在は、スーパーマーケット、百貨店、コンビニエンスストア、食料品メーカーなど各種企業との協定締結をしております。

備蓄拠点や集積配送拠点から避難所などへの物資輸送は、33社と協定締結しており、また、救援物資が集積拠点から各避難所に届かないラストワンマイルの課題が生じないように配送訓練の実施を行っております。

御指摘のJAとの連携は、平成12年に協定を締結し、市民に対する食料供給のための精米等の提供をお願いしています。今後も引き続き必要に応じた流通備蓄の協定締結を進め、平時から協定締結企業と顔の見える関係づくりに努め、災害時の円滑な食料などの供給に取り組んで参りたい。

災害時 3日間

約 20 万人を想定した備蓄とは

	1 日目	2 日目	3 日目
① 市民備蓄	5	5	5
② 現物備蓄	10	5	
③ 流通備蓄	5	10	5
④ 救援物資			10
計 (万人分)	20	20	20

市民備蓄

市民による非常持ち出し品、非常備蓄品の準備

現物備蓄

市内の各備蓄拠点における備蓄 (15 万人分)

地域備蓄拠点 小・中学校、避難所 市内 318 か所

総合備蓄拠点 大規模に集中して備蓄する市内 14 か所

流通備蓄

災害時協定を締結している指定業者等からの備蓄

救援物資

国や他の自治体等からの物資 (3日目からの想定)



神戸市人口 約 150 万人に
対し備蓄は 20 万人分!?

阪神淡路大震災時 被災者 23 万人を基
に 20 万人の備蓄を想定しています。

現在、神戸市全体を
挙げて総点検中です!

発災後 3 日分の備えとは

市民備蓄 水 + 熱源 + 9 食

最低 3 日 ~ 7 日間の備えを!



+



発災後は、3日に限らず1週間程度は、電気、ガス、水道といったライフラインが停止する可能性があるため、まず、1週間分の水とカセットコンロ等の熱源を確保すると良いでしょう。

最低 3 日分 (9 食分) の確保を!



発災直後は、交通網の寸断等により、行政からの公的物資等の配給が3日以上到着しないことが想定されるため、最低でも3日分 (9 食分) の食料品は確保するよう心がけましょう。

自分・家族構成に合った備蓄を簡単チェック!

「災害に備えた備蓄」と聞いても何をどのくらい備蓄すれば良いかわからない方に向けて、備えておくと良い品目などを紹介するサイトです。



東京 備蓄 ナビ

簡単な入力が必要
な備蓄品と数量が
分かります!

東京備蓄ナビ
(参考サイト)



病気やケガの症状を把握し

「#7119」適切な案内ができていますか?

Q 坊池 正 (健康局) 令和 6 年 2 月 26 日

平成 29 年から開設された「#7119」救急安心センターは、電話口で医師、看護師、相談員がお話を伺い、病気やケガの症状を把握して、救急車を呼んだ方がいいか、急いで病院を受診した方がいいか、受診できる医療機関はどこか等の案内を行っております。導入効果は「市民の安心」、「救急医療機関」、「119 緊急通報・消防」の負担軽減の機能を果たし、「119」では実質「緊急通報・消防」のみになっております。

令和 4 年度は、受信件数が過去最多の 13 万件となりました。令和 3 年度比で 1.4 倍、非常時の電話応答率は 95%以上ですが、令和 4 年度の一時 70%台まで低下したと聞いています。今後も右肩上がりで見込める件数が増えていく可能性が高く、芦屋市に続き、令和 6 年 1 月より姫路市も対象エリア拡大による影響を踏まえ、設備面の拡充や配置人員の増強等必要であると考えます。

また、ソフト面において利用者が市内医療機関において「#7119」で案内した内容が適切に行われているか伺います。

A 花田健康局長

「#7119」救急安心センターは、令和 4 年の夏は、コロナの第 7 波により、「コロナの専門相談のダイヤル」がオーバーフローし、#7119 にも市外も含めてたくさんかかってきたので、応答率が 70%台まで下がりました。

そのため、令和 4 年の秋から自動音声ガイダンスを導入し、応答率が 95%以上に回復いたしました。また、今年度から入電件数の増加に応じてコールセンターを、約 4 倍以上の広さを持つスペースに移転、システムも更新し、回線数も 7 回線から 12 回線に拡充、年末年始などの繁忙期には平常時の 2 倍以上の人員強化が可能となりました。最大 48 回線まで広げられるような状況です。

坊池議員の御指摘のとおり、芦屋市、今年から姫路市も参入、引き続き入電件数の状況も見ながら、相談の支障が出ないように努めていきたい。

また、#7119 案内のうち 8 割は適切であったというふうに医療機関からの評価を頂き、残り 2 割は、要検討、少し検討とご意見を頂いております。今後、救急需要の増加に対応すべく、適切な運用に努めて、救急需要の逼迫の改善に少しでもつなげていきたいと考えております。

令和 6 年 9 月見直しにより安心に

受診すべき時間の目安

赤	緊急	今すぐ救急車 (特に緊急度が高い場合は 119 転送)
橙	準緊急	2 時間以内を目安に受診 (救急車以外)
黄	低緊急	(平日常) 本日診療時間内に受診 (休日夜間) 翌日早めに受診
緑	非緊急	数日中に受診
白	受診の必要性なし	



市民に判りやすい
表現になりました!

Q 坊池 正（健康局）令和6年2月28日

令和4年1月にキュア神戸が設立され、約2年経過しますが、キュア神戸の現状と今後目指している方向性などお聞きします。

A 花田健康局長

中央市民病院の臨床研究で、継続したリハビリは、再入院のリスクが半減するという研究データが出ております。

一方で、リハビリ体制で全国的な課題が2点あります。

1点目は病院間から自宅までのリハビリ接続です。急性期病院、回復期病院、自宅に帰ってからのリハビリ情報共有は行っていますが、それぞれがぶつ切りになっている。それを一気通貫させる必要があるということ。

2点目は、高齢者の心疾患、呼吸器疾患などの内部障害が非常に増えておりますが、これらのリハビリに対応できるようなスタッフや受け入れ病院がないということです。この2つの課題解決のため、キュア神戸では、試行的な取組を実施しております。

Q 坊池 正（健康局）令和6年2月28日

退院後もリハビリを続けたい方を対象に、デイケアとジムの要素が両方入っているようなリハビリテーションセンターがございます。利用者の7割が介護認定の要支援者となっております。

超高齢化社会を迎え、運動や筋トレだけでなく、リハビリができるジムが増えてくればニーズは高いと考えます。そういった観点で、今年度予算に上がっている「健康ライフプラザ」を活用した運動支援事業は、どのような人を対象に、どのような事業を展開するのかお伺いいたします。

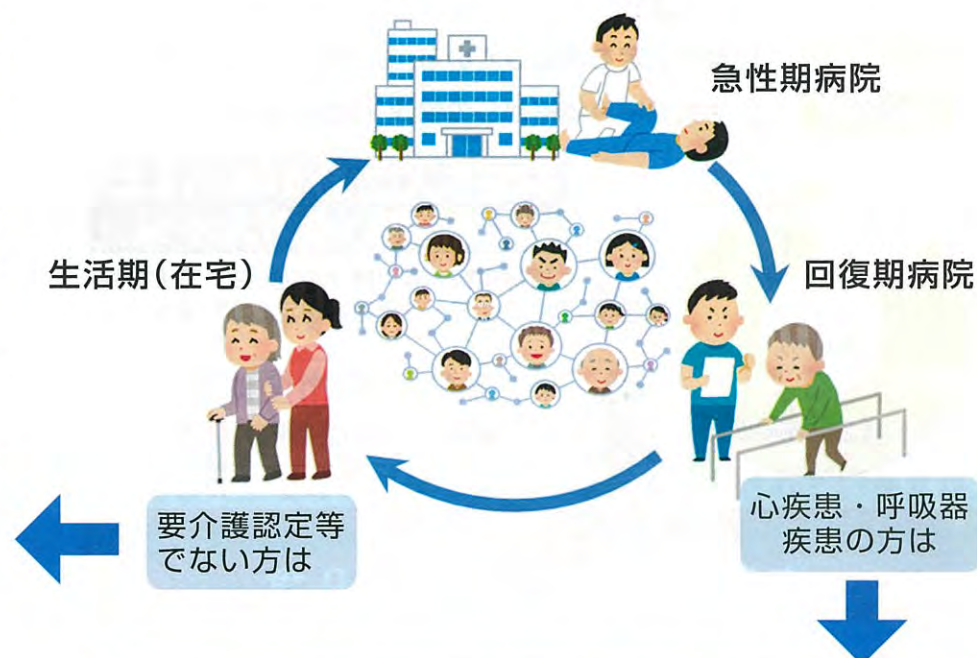
A 花田健康局長

医療的なリハビリは終わっているが、要介護認定等でない場合には、介護保険制度の対象にはならないために、リハビリサービス等も受けられない。そのため、本人自らが適切な運動に取り組むことが必要となりますが、精神的な不安から、なかなか御自身で適切な運動を継続することは難しいと聞いております。

「健康ライフプラザ」では、市民病院3病院の心疾患・呼吸器患者などの内部障害の患者の内に、要介護・要支援認定を受けていない方を対象に、ドクターが個人ごとに運動処方を発行し、1人当たり6か月間、「健康ライフプラザ」にて運動支援を試験的に実施したいと考えております。



患者情報をリアルタイムで共有し
継続したリハビリの実現へ



神戸リハビリテーション病院(しあわせの村内)
心疾患 / 呼吸器疾患専門リハビリ病院

Q 坊池 正（健康局）令和6年2月28日

しあわせの村内にございます「神戸リハビリテーション病院」ですが、新たなリハビリニーズへの対応など先駆的な取組を行うなど、民間病院ではなかなか難しいところを公的にカバーし、そのモデルになる必要があると考えますが、いかがでしょうか。

A 花田健康局長

「神戸リハビリテーション病院」は、県内最大の回復期リハビリテーション病棟で180床ございます。

医療費点数が低い等で民間病院の方で実施していただけない「心疾患」「呼吸器疾患」の内部患者が増加していることを受けて、心臓リハビリを、令和4年度から本格実施をし、同じように民間受入れの進んでない「慢性呼吸器疾患」患者のリハビリも本格的に始めたところでございます。今後、公的病院として民間病院のモデルになるように、先行してこのような民間ができないところの医療、リハビリに積極的に取り組んで、民間病院ができるスキームをつくっていき、積極的な役割を果たしていきたいと考えております。



浅井みか通信

vol.2
灘区版

【発行】自由民主党神戸市会議員団・無所属の会 — 神戸市中央区加納町6丁目5-1 神戸市役所1号館28階 TEL.078-322-5846

新しい風で神戸を前へ！ 【作成者】神戸市会議員 灘区選出 1 期目

浅井みか

こべっこ ウェルカム 定期便 はじまりました！

▼ 2024年11月
こべっこウェルカム定期便
出発式にて



2023年9月議会にて
浅井が提案しました。



2024年11月から、赤ちゃんが生まれた家庭に育児用品を定期的に配達する、神戸市の新しい子育て支援「こべっこウェルカム定期便」がスタートしました！
同定期便は、子育て経験のある配達員が赤ちゃんのいる家庭を訪問、保護者に品物を渡すとともに、外出しにくく孤独感を抱えやすい保護者の話し相手となる目的で企画されています。

詳細は中面を
ご覧ください



ご挨拶

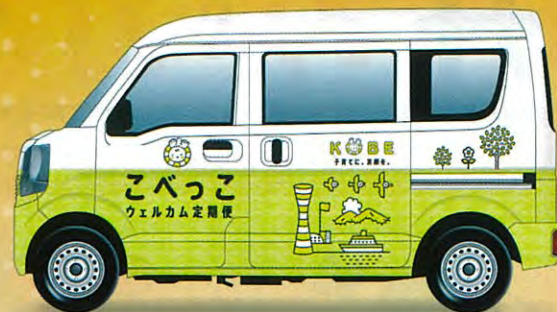


皆さまに選んでいただき、議員人生をスタートして早1年半が経ちました。
街中でいただいたお声をもとに皆様への恩返し、そしてお約束として、
「言うだけではなく結果を出す」ことを第一にここまで走ってまいりました。まだまだ勉強の日々ですが結果が出ている内容もあり、今回はその一部を報告いたします。
市政に声を届け、神戸から日本を明るく変えていくという役割、引き続き取り組んでいきます。
是非HPやSNSを通じてお声を頂けると嬉しいです(主にインスタグラム、Xで日々発信しています)。

こべっこウェルカム定期便とは

神戸市では、赤ちゃんとそのご家族をサポートすることを目的に「こべっこウェルカム定期便」を開始しました。

赤ちゃんの誕生をお祝いするプレゼントに加え、月に1回、おむつやミルク等の育児用品を見守り配達員がお届けします。



子育て経験のある見守り配達員が毎月お届けします

育児用品等は見守り配達員が赤ちゃんと言育者に直接お会いしてお渡しします。

子育てに関するお悩みやお困りごとがありましたら、ぜひお聞かせください。

見守り配達員は、配達だけでなく、みなさまの育児のサポーターとして赤ちゃんと言育者を支えます。

こべっこウェルカム定期便
特設サイトは
こちらから



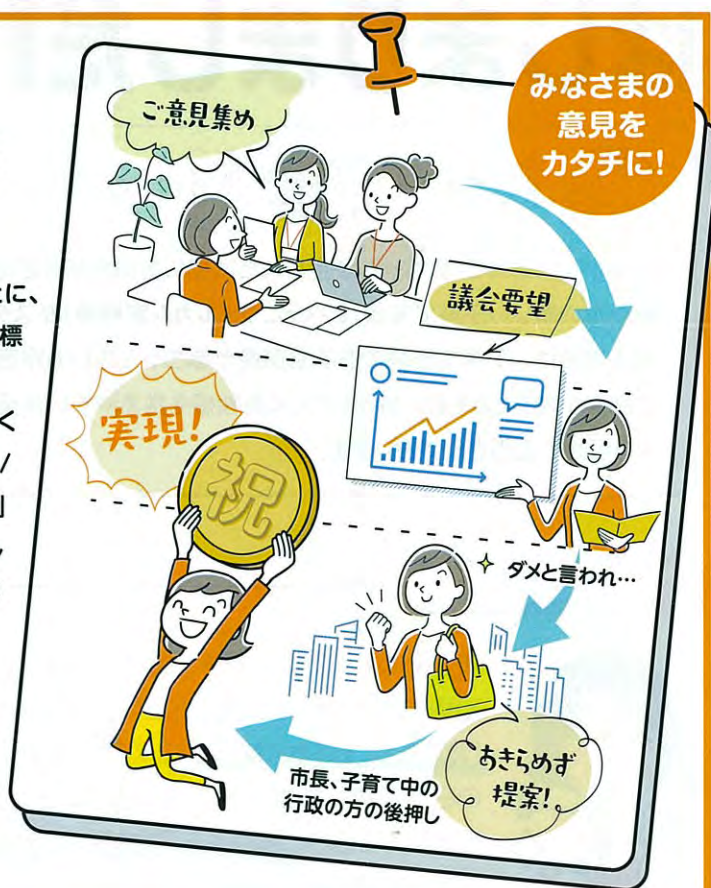
Message
voice

こべっこウェルカム定期便 実現までの道のり

街で市民の皆様からいただいたご意見をもとに、公約である「働く世帯人口を増やす」ことを目標に、昨年9月議会にて要望を行いました。

実は当初、他の子育て支援を理由に反応は良くありませんでした。しかし0-4歳の人口流出/流出先のデータ提示や、「財源確保の提案」「子育て世代への見守り」など諦めずに提案し続けてきた結果、なんと半年強で実現する事ができました！

この政策と高校生の定期代無償化で、子育て期の人口流出の削減につながればと期待しています。これからも切れ目のない子育て支援で全国No.1の「子育てに優しい街神戸」を名実ともに目指します。



浅井 みが 5つの重点政策 “経済×子育て” 働く世帯人口を増やす!

- 1 全国No.1の
子育て・出産支援
の拡充
- 2 人生100年
時代を見据えた
街づくり
- 3 経済成長の
回復・ビジネスの
つながる街へ
- 4 王子動物園を
魅力度No.1に!
- 5 全国の
お手本となる
防災の街・神戸

子育て支援 神戸市1位

成長応じ切れ目なく 産後ケア・学童拡充

2024年版「共働き子育てしやすい街ランキング」にて
神戸市が総合編1位を獲得しました!

記事引用: 働く女性向けウェブメディア「日経クロスウーマン」(発行: 日経BP)

公約達成に前進、初の1位!
こべっこウェルカム定期便も
特集されており、
神戸市人口の社会増加
につながるよう引き
続き頑張ります!



浅井

進捗情報

2023年9月決算特別委員会からの浅井の要望進捗

質問・要望のポイント	結果
① ベビーシッター / 家事代行サービス希望者に対し、制限することなく0歳～3歳まで助成拡充。	0歳～2歳までで 実現!
② 生活応援定期便 / 家庭訪問サービスの新設。	実現!
③ ①②を神戸モデルとして一つの目玉に。	広報 強化中!

産前産後
ホームヘルプ
の拡充

0歳のみ利用可能だった家事代行サービス(ホームヘルプサービス)が拡充。2歳未満まで使用できるようになりました! これにより仕事の復帰のタイミングで外部に頼ると「自分一人で抱え込まなくて良い」選択肢ができると思っております。今回拡充に尽力してくださった市長・行政の方々本当にありがとうございました! 皆さま是非使っていただき、お声を聞かせてください!

◀ 2024年9月
外郭団体に関する
特別委員会にて

進行中!

2024年 浅井の子育てに 関する議会取り組み

0歳～4歳
6歳～12歳
12歳～15歳
全体取組

病児予約システムの利便性向上
学童神戸モデルの実現(広さ・質・英語など)
KOBE◆KATSU(部活動の地域移行)を子どもファーストな政策に
国際都市神戸で子育てをすると英語力をはじめ、国際的な視野が身につく街へ



START!

令和6年度年度議会

2つの委員会を軸に神戸を前へ進めるよう力を尽くしてまいります!



各局を審査する「常任委員会」

01

→ 建設防災委員会に所属。

建設局・消防局・水道局・危機管理室を所管し、私は副委員長の任をいただいています。

2024年5月 建設防災委員会にて▶



特定の物事を審査する「特別委員会」

02

→ 昨年同様外郭団体に関する
委員会に所属。

色んな審査方法がありますが、私はビジネスレビューを基に各団体の審査・提言をしています。



鶴甲団地 朝と夜の バス本数が増えました！

浅井の実績紹介させてください！

選挙中の
皆様の声から
実現！



16系統 19～22時台に**＋4本**、
11時台**－1本**
36系統 8～12時台と18時台に
＋4本

神戸市内では路線廃止される地域もある中、六甲道駅から鶴甲団地に向かうバスに関しては昨年需要の再調査の上、大幅増便となりました。皆さまが声をあげてくださった結果です、是非乗ってくださいね！

摩耶ビューラインの アクセス検索の改善



浅井の実績紹介させてください！

昨年より外郭団体の特別委員会やその他の発言の場で、"摩耶ビューラインのアクセス検索の改善"を要望し、早速こちらを所管の(株)こうべ未来都市機構の方々に実現していただきました。

現在、Googleマップ等で検索いただくと、わざわざ時刻表を別に見に行かなくても、ロープウェイやケーブルの時間、ビューラインを使った六甲山系への行き方を検索できるようになっています。

利用者も前年比1.2倍(昨年度)。今年度は更に増えていくことを期待しています。六甲山系の魅力を通じ、神戸・灘で楽しんでいただく方が増えるよう取り組みを進めます。



浅井

バリアフリールートの掲示 新設設置・広報強化

浅井の実績
紹介させてください！



▲神戸市HPで記事も
書いていただきました

春先に
JR改札付近
に掲示！



市内在住・在学高校生等の 入園料の見直し

(単位：円)

施設名	一般	高校生 (市内在住・在学)	市内在住 65歳以上	県内在住 65歳以上
神戸布引ハーブ園(※1)	200	200 ⇒ 無料	無料	無料 ⇒ 200
相楽園	300	300 ⇒ 無料	無料	無料 ⇒ 300
森林植物園	300	300 ⇒ 無料	無料	無料 ⇒ 300
須磨離宮公園	400	400 ⇒ 無料	無料	無料 ⇒ 400
神戸市立王子動物園	600	600 ⇒ 無料	無料	無料 ⇒ 600
六甲山牧場	3～11月 12～2月	600 400 ⇒ 無料	無料	600 400
太閤の湯殿館	200	100 ⇒ 無料	200 ⇒ 無料	200
バンドー神戸 展示室	600	300 ⇒ 無料	300 ⇒ 無料	600
青少年科学館 ドームシアター	400	200 ⇒ 無料	200 ⇒ 無料	400
神戸海洋博物館(※2)	900	400 ⇒ 無料	450 ⇒ 無料	900

※1：神戸布引ハーブ園は入園料のみ

※2：カワサキワールド(川崎重工業)との共通入場料金。

神戸市では神戸市内の高校等の通学定期券無料化に伴い、2024年9月1日(日)より市内在住・在学の高校生は多くの有料公園や施設の入場料が無料になりました。是非この機会にご活用ください！

浅井

JR中央口からは一度山側の出口に向かっていただき、地下鉄に降りるエレベーターで地下へ移動ください。車いすやベビーカーをご利用の方から、工事に伴い困っているというお声を頂いたので、行政の方々に動いていただきました。

浅井



山下てんせい



神戸市営地下鉄西神車庫の廃止とその後

関連議事録

※詳細は右のQRコードからご確認いただけます

令和5年3月2日：予算第一分科会交通局「跡地の有効利用について」



令和6年6月27日：都市交通委員会「去り行く西神車庫を活用したイベント」



令和7年3月末をもって、神戸市営地下鉄は谷上車庫と名谷車庫を使用し、西神車庫を廃止します。
山下てんせいは令和3年より、この課題について積極的に質問や提言を行い、跡地利用について、あるいは地域からの意見を市へと伝えてまいりました。

令和6年度に所属している都市交通委員会においては、西神車庫廃止前に、記念イベントを開催してはいかがかという内容の提案を行い、交通局主催で「さようなら地下鉄西神車庫」が開催される運びとなりました。

日時：

令和7年2月24日（月・振休）

10:00～14:30

於 市営地下鉄西神車庫

※駐車場はありません

当日は車両展示のほか、
駅弁販売や子ども縁日なども開催！

申し込みは不要ということで
すので、3連休の最終日、多くの方にお運びいただきたいと思います。

また西神車庫廃止後の跡地利用については、具体的なスケジュールが決まり次第お伝えしてまいります。

旧農業公園再整備について

関連議事録

※詳細は右のQRコードからご確認いただけます

令和5年9月27日：決算第3分科会経済観光局「旧農業公園再整備について」

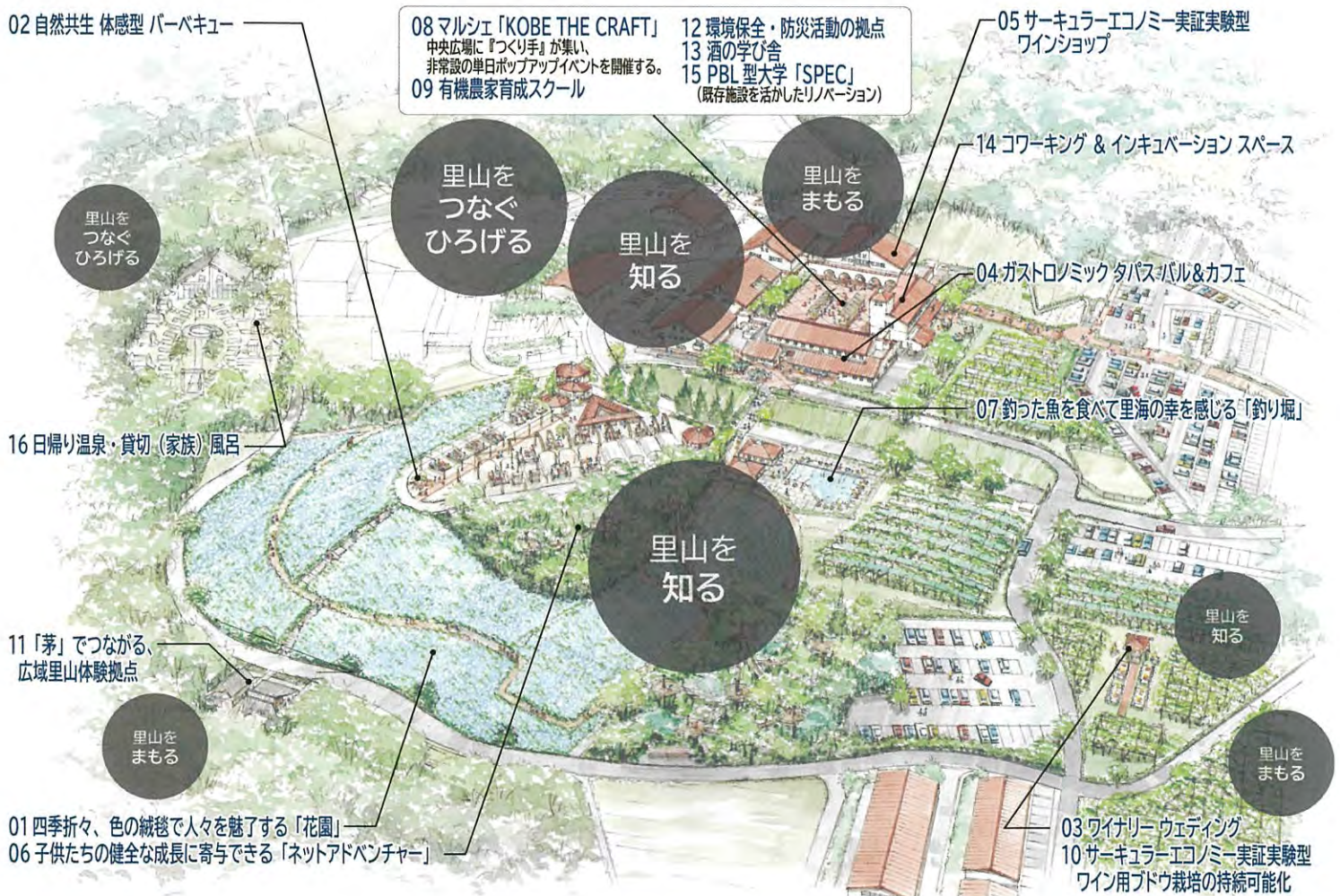
令和6年3月4日：予算第3分科会経済観光局「再整備に係る予算について」



山下てんせい は、西区選出議員として、長年店晒しにされていた旧農業公園再整備について粘り強く取り組み、時には市長にも直接要望し、令和6年度の当初予算には間に合いませんでしたが、5月の補正予算にて認められました。

この度、神戸ワイン事業が白鶴酒造に承継されたのに続き、旧農業公園再整備事業の全体運営事業者として（株）MEリゾート但馬が選定されました。そこで今後に向けて、同じく六甲のめぐみを運営するJA兵庫六甲共々に、より良い施設となるよう協力していくことを確認いたしました。

今後は未定である温浴施設の協力企業や、レストラン等の事業者との橋渡しを行っていく所存です。



五島 だいすけ 通信

http://www.goto-daisuke.net mail@goto-daisuke.net

神戸市会議員

2025年
新年号

ごあいさつ



2025年という新たな年を迎えました、皆様いかがお過ごしでしょうか。

本年は、いよいよ神戸空港の国際チャーター便が4月から飛ぶ事になります、新たな旅行の発着点として、インバウンド旅客の経済効果を神戸に最大限取り込めるように滞在型観光のプロモーション等にも新たな流れを作る必要があります。国際便が飛ぶ地として、住環境としての新たなニーズ、企業の新たなニーズとして可能性を拓ける事にも注力する必要があります。人口減少に対する効果的な施策を産む原動力となるように取り組みます。

個人的にも本年私は年男ですので、気合をいれて頑張ります。

今号では、所得の壁についての取り組み、部活動の地域移行はどうなるのか？、今後の道路事業について、2025年新年度予算への要望などについてご報告いたします。特に、中面では部活動地域移行=コベカツの現状と問題点、あるべき方向性などについて重点的に書き添えておりますので、お読みください。

所得の壁について、国への意見書を提出



提案議員を代表し意見書案の提案をさせて頂きました

これは2023年の2月本会議の事です、自由民主党神戸市会議員団の(当時)政調会長として、103万の壁・130万の壁などを念頭に所得の壁撤廃の意見書を作成し、自由民主党神戸市会議員団はもちろん、一部の会派を除いた皆さんにご賛同いただき、国に対して意見書を提出させていただきました。

前回衆院選から注目されているこの課題ですが、実はずっと以前から所得の壁については延々と問題視されてきたものであり、これを地域から解決するように声を上げたのです。

年末が近づくと、所得の壁のために働けないというパートアルバイトの方、最低賃金が上がっても意味がありません。雇用者側も、年末の人繰りに頭を抱え、自らがサービス残業をする以外なくなる例もあり、この人手不足を所得の壁がある制度が悪化させてしまっているのです。

意見書案は、神戸市に関係する国会議員の皆さんにも届けさせていただきましたし、当時自民党の政調会長を務めておられた渡海紀三朗衆院議員(兵庫県出身)にも届けさせて頂きました。

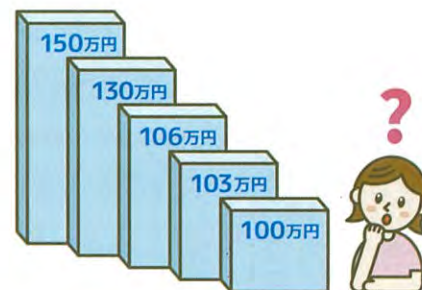


渡海紀三朗衆議院議員へ要望書を手交

所得の壁は今に始まった事ではなく、皆が望む要改善事項です。今後実質所得を上げていく必要があるため、より弾力的に改訂していく必要があります。2029年までに最低賃金を1,500円にしよう!という国の方針があるならなおさらの事です。様々な働く方、事業をやって人を雇用している方から本当に多くの要望を頂きます、提出前も、現在も同じように「何とかしてくれ」という切実な声があるのに、なぜ国が動かないのかと怒りさえ覚えるころでした。

2024年末時点でやっと国が動きを見せるところ、103万の壁については動きがありますが、103万が123万になったところで意味はたいして変わりはありませんし、106万130万の壁(社会保険)についてはサッパリの状況であり、どちらの壁についても同時に取り組まなければ意味がないのは国民皆が分かっている事です。

神戸市会からも、皆様の代表として「早く動け!」と、改善の声を届ける取り組みを引き続き粘り強く行っていく次第です。



衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
厚生労働大臣
内閣官房長官

各宛て

令和5年2月17日

神戸市会議員 安井俊彦

「103万円の壁」及び「130万円の壁」を早急に撤廃することを求める意見書

国においては、未来を切り開く「新しい資本主義」において、成長の果実を確実に分配することで、次の成長につなげる「成長と分配の好循環」を目指しています。特に看護・介護・保育などの分野において給与の引き上げを行うとともに、民間企業の積極的な賃上げを支援するため、賃上げ税制を抜本的に拡充しています。さらに、最低賃金について、できる限り早期に全国加重平均が1,000円以上となることを目指しており、兵庫県でも令和4年10月1日から、928円であった最低賃金が960円へと大幅な上昇が実現しています。

しかしながら、配偶者又は被扶養者の年間所得が48万円を超える場合に扶養者

2023年の意見書(一部)

部活動からコベカツへの移行について

教育委員会は令和 8 年 9 月から、中学校における全ての部活動を「コベカツ」に地域移行すると発表しています。

しかし市民の皆さんからは「部活なくなるの?」「地域移行ってホンマにできるんかいな?」など不安の声が多く寄せられています。

ここでは、国の動き、現状の神戸市の動き、そして現状の問題点などに対する五島の動き、今後の課題などについてご報告させていただきます。

国の動きはどうなっているの?

➡この地域移行について、まず、国の動きがどうなっているのでしょうか
神戸市だけが地域移行!と言っている訳ではなく、国として**少子化による選択肢不足への対応と教員の働き方改革のために進める事業**とされており、その目的は【学校部活動の地域移行は、「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下で、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様な環境の一体的な整備により、地域の実情に応じスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消することを目指すものである。】(文部科学省)とされています。

地域移行のメリット、デメリットは?

➡全国的に、既に少子化によって、部活動の選択肢は昔に比べてかなり減少してしまっているため、地域移行により選択肢が広がるというメリット、過大だと言われている負担から教員を解放できるというメリットはある。一方で、**地域クラブに対する費用負担や、送迎などの負担など親の負担**が新たに生じることや、学校教育から外れる場合には、**学校に行くモチベーションが下がってしまう事や、生徒との関係が希薄化してしまい心理面などでのサポートが低下する事**、などがデメリットとして一般的に挙げられている。

メリット

児童生徒の選択肢が広がる
専門的な指導が受けられる
教員の勤務時間短縮や業務負担の軽減
学校と地域との接点が増える

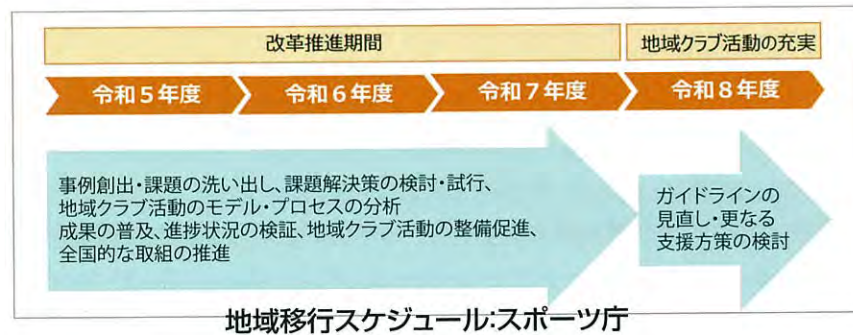
デメリット

保護者の費用負担が増える可能性がある
部活動に対応した指導者や活動場所の確保が難しい
地域格差が生じる可能性がある

全国共通のメリット・デメリット

国の定めるガイドラインにおけるスケジュール

国では、まず土日の活動について令和5年～令和 7 年に地域移行を進め、その後平日も含めた活動の充実を図るというスケジュールが想定されています。



➡国における地域移行の様々な方法論やモデルケースの発表はなされ、スケジュールも出されていますが、ここで私が考える最大の問題は**予算の話**を誰もしていないという事です。

大いに疑問を感じている点は、これまで**教員が歯を食いしばって尽力してきた部活動を地域化して、その経費をゼロと見ているのか?** 学校教育の一環としてなされてきた部活動(文部科学省学習指導要領に記載されている)が「**教員が大変だからやめる、ついては、経費は親が自己負担せよ**」ではあまりにも**身勝手過ぎないか?** という事です。

神戸市の動きの現状について

神戸市では地域移行に対して様子見をしていましたが、令和6年度に入り、地域移行が喫緊の課題であるとして「**令和 8 年 9 月末に地域に完全移行すると打ち出された**」と急に方向転換を行いました。

また、2024 年 12 月には来年から地域団体の公募を行う旨も発表され、2025 年 1 月に第一次募集が行われるとされています。

部活動とコベカツの違い(教育委員会資料より)

	部活動	「コベカツ」
運営主体	学校	地域の様々な団体 (登録制)
指導者	教員、部活動指導員	多様な人材、 希望する教員(兼職兼業)
参加者	当該校の生徒	生徒等 (参加範囲を柔軟に設定)
活動場所	学校施設	学校施設、地域の諸施設
費用負担	部費(実費相当)	月会費等
保険	日本スポーツ 振興センター災害共済	スポーツ安全保険等

神戸市のスケジュール(教育委員会資料より)



➡このスケジュールですと、現在の**中学校 1 年生は 3 年生で引退するまで部活動、小学 6 年生以降は 1 年ずつコベカツ期間が増えていき、小学 4 年生は部活動を知らない世代**になります。実際に影響は出始めていて、「コベカツが始まるのであれば民間クラブに来春最初から参加する」という新入生予定者や、コベカツを見越して中学生クラスを作るスポーツクラブなども出てきています。

コベカツの枠組み(活動数・場所・会費など)がしっかり発表されないまま推移しているため、先行する民間クラブがこどもをかき集めてしまう事や、現在の中学 1 年生に後輩が出来ないなどの懸念が大いにある状況であり、正直これは移行期間が短すぎる事の弊害です。

また、国の問題と同じで、どれくらいの予算を確保するのかという話が全くされないまま進んでいる事が大問題で、**教師がどのように関わるのかを教師自体が知らないという悲しい事態**になってしまっています。



●部活はこども本位の地域移行を!

部活動の地域移行は 3 万人超の中学生の日々の活動、家庭、学習過程への影響もある重大な事項であるため、着実な予算確保を行い、こども本位で可能な限り広く活動選択ができる状態を確保しなければなりません。

地域に任せた! はいいが、「やりたい活動にアクセスできない」などにより子どもたちのやる気が失われてはいけません。

教員の多忙化対策はいいとして、こども本位の地域移行が本当になされるのか? 9 月本会議で質疑したのが下記の内容です。

五島 部活動の地域移行は令和 8 年の 9 月を目標に取り組んでいるところと聞くと、実施主体となる地域団体において、指導者の確保や、保護者からの負担金だけで運営が成り立つのかなど、様々な課題もある。

地域移行後も、移行前と同じ水準で子供たちが活動できるよう、市が責任を持って取り組んでいくことが重要であり、**(教育委員会だけでなく)市としても予算を確保して取り組んでいくべき**と考えますが、見解を伺います。

教育長 受け皿となる活動団体の確保が最も重要。指導者の確保については、保護者や、部活動の OB など、幅広く参画いただきたい、希望する教員についても、兼職兼業の許可を取って参画してもらう事を考える。

五島 **こどもたちを預けるからには、しっかりとした指導が必要である。引き続き指導したいという教員のために、コベカツに参加しやすいフレックス制度や兼職兼業の取りやすさ**が重要ではないか?

教育長 原則として教員の働き方改革ということでこれを進めていく、希望するしないに関係なく教員は教育課程で決められている教育活動に専念充実させていく。自分の仕事にプラスアルファで、**ボランティアとして参加できる場合**にお願いすることと考えている。

五島 市民側からしたら地域移行は働き方改革ではなくこどものためにやる事だ、こどもを預けるのだからしっかり指導して頂く必要があるのにボランティアは違う。そこは考えを改めて頂く必要がある。

市長サイドに聞きたい、**移行のための予算と人員を確保しているのか? その指示は出たのかという話を聞くと「まだない」と聞く。**この令和 8 年の 9 月といったら今から**2 年後に子供たちを受け入れる地域クラブが、全部整理されていないといけない。**この準備ができるのか? この受け皿となる市長部局としてどのように取り組むのか?

市長 具体的にまだ市長部局がどういう形でこれに関わるかの予算措置はない。これはまだ御提案(コベカツの提案)がなされてから日が経っていないからである。しかし問題意識は共有しているので、令和7年度予算の中で何ができるか議論をして、成案を見出していきたい。

五島 **子供の 1 年はその 1 年しかないので我々大人の1年とは違う。**子供には切れ目を作ってはいけない、希望する活動に対して、可能な限り参加できるクラブ作り、拠点への移動手段の確保、そして指導者の確保、徴収可能な部費の検討などが必要。所得に応じた補助もしないといけない、集金方法とか、報酬の受け渡し方法など、驚くほど検討課題がある。今後の検討が早くなされないといけない、市長部局と一体となり、おそらく 20 ～ 30 億円の予算が必要になると思われる。こどもたちに切れ目がないような計画、予算と人員の確保が必要、こどもたちの大切な時間のために大人が一肌脱ぐ必要がある、是非ともよろしく願いたい。

➡この質疑ではまず

- ・こどもたちの活動に切れ目を作らないこと
- ・移行するのであれば着実に行うべく、人員と予算を確保すること
- ・希望する教員が報酬を得て参加できるようにすること

などを問いましたが、上記の通りの回答であり、また**市長部局は全く準備をしていない**事が明らかになりました。こどもたちのためには、地域の協力団体を集める事も重要ですが、全体のデザインをまず考え、コストがいくらかかるのかを検討し、移行チームを立ち上げる必要があります。

残念ながら現状は、予算が検討されていない (つまり親の会費だけで運用するつもりなのか? という事)状況で、協力団体を募っている状況であり、検討チームはある課のライン 5 名のみが他の業務と兼務で行っているという状態です。

●会派で地域移行勉強会を開催し、さらに教育委員会と意見交換

質疑のみでは意思疎通が不足しており、こちらの要望も全て伝わっていないため、11 月に会派と教育委員会の勉強会を開催し、意見交換要望会を実施しました。

勉強会で明らかになった事は、

- ・完全地域移行を行って、教員の働き方改革を行い、新規教員募集で他都市に比べ優位に立ちたい。
- ・コベカツは会費制で行いその他の予算を特に用意する予定がない。
- ・参加したい教員がいても、赴任地でこどもを担当する事はNG。
- ・現状、参加したい教員が、どのように参加すべきなのかすら伝えられていない。
- ・市長部局は現状地域団体の掘り起こしには協力するが、コベカツの担当をするつもりはない。
- ・川西市の地域移行を参考になっている。ただし、川西市のモデルはそれぞれのクラブが会費を設定・回収する。同種目でも月会費に大幅な開きがあり、例えばバスケットで会費月額 500 円のクラブもあるが月額会費 8,000 円のクラブも存在する。

(この月会費の件については、地域によって高い会費が設定されてしまえば、その種目をあきらめざるをえない生徒も出てしまうリスクがある。どこが選択肢を広げる結果につながるのか?・民間の習い事とどう違うのか? という質問に対し、「教育委員会にコベカツとして登録しているかどうかの違いしかない。」との回答あり)

・**単なる民間クラブへの丸投げの様相であり**、その中で、学校のグラウンド・体育館・教室や特別教室を使っても良いというだけだと思われる。



勉強会を受けて

➡これではこどものための地域移行とは程遠いため、こども本位の地域移行が出来ないのであれば、出直しが必要であろうという事になり

「コベカツについては、生徒本位で進めることを基本に、地域展開を進めるための環境を整えてからの移行とするよう検討し直すこと。」

という、非常に厳しい要望を久元市長に対して、会派より申し入れました。

熊本市では、部活動の地域移行ではなく継続が宣言されました。ただ、教員の働き方改革は実施するため、部活動に参加する教員は希望者のみの登録制であり、**地域の方と希望する教員が指導者登録する仕組みを作り、その報酬に年間 10 億円(熊本市=人口 74 万人)の予算をかける**といいます。

このような思い切った施策を打つ自治体もある中で、少子化が課題の本市が、民間丸投げの地域移行をしていていいのか? **こどもの活動をしっかり面倒見ると宣言し、神戸は羨ましいと思われる状況を作る方が得策ではないのか?**と、正直怒っています。

教育委員会が走り出してしまっている中ですが

- こども本位で、切れ目のない活動ができるようにする
 - 希望する教員が、参加できる仕組みづくりをする
 - 土台からしっかりデザインされた地域移行にする
 - 必要な予算および移行チーム人員がしっかり確保されるようにする
- 等の事が実現する地域移行になるように、今後も取り組んでまいります。

ご意見や、ご提案などもありますので、メール・SNS 等にお寄せ頂ければ幸いです。

mail@goto-daisuke.net



Instagram

●皆森交差点～谷上2車線化の効果と他の渋滞箇所への取り組み

2017年に初めて皆森交差点を先頭とする東向き(谷上方面向き)渋滞解消を要望し、2024年に**谷上までの全線で東向き2車線化の工事が完了**しました。当初思い描いていたものをはるかに超える効果があり、**渋滞長は500m⇒0mへとほぼ解消**し、多くの方から喜びの声を頂いております。

今回の手法は、受け入れ側道路を改良するもので、過去にも有馬街道の南側、祇園神社の階段下周辺から平野交差点までを2車線化し、朝の南向き渋滞が緩和された経緯があります。

夕方、有馬街道の北向きが渋滞します。これを全線2車線化する事は財政的に困難だとお断りされているところですが、例えば上述と同様の工夫で、**水呑交差点～二軒茶屋を北向きのみ2車線化する事が出来れば効果が期待できるであろうと、調査検討をするように要望**を行いました。建設局からの答弁は「車道自体が狭い箇所があり難しいかもしれない」というものでしたが、渋滞解消のために粘り強く取り組みを進めさせていただきます。



●阪神高速5号湾岸線—西伸部の工事はいつ完了するのか?

2019年に着工した同工事、市の打ち出しでは着工から10年で駒江までの期間が完成するという事でしたが、**工事が予定通りに進んでいない**模様です。近年の建設コスト高騰などもあり、完工までの様々なハードルが増えている訳ですが、**都市高速道路の渋滞ワースト1と言われる阪神高速道路神戸線の渋滞損失は早期に解消する必要があります。**

現状と課題、スケジュール感などを明確にすべきだと質疑した結果は以下の通りです。

課題

新港・灘浜航路部の長大橋の4本主塔について、その基礎を支持する地盤が想定よりも軟弱であり、当初の想定よりも基礎の位置を5メートルから20メートル程度深くするなど、基礎全体を大きくする事になった。コスト増がいくらかのかおよび工期延期事業スケジュールについては何も発表がなされておらず不明。

オフレコながら、長大橋の工期などを考えても当初目論見の2029年完成は不可能で、現状の予算執行状況(毎年の国からの予算の出方)のペースで見た場合でも2035年完成は不可能な状況になってしまっている。

➡**予算執行ペースを上げるべく国との対話が必要**である。

コスト

近年の物価高騰などによるコスト増で、現在取り掛かっている部分だけで1,740億円のコスト高騰、未着手部分も入れると当初コスト予想5,000億円に対して倍程度に膨れ上がる可能性がある。

➡**物価高騰は今後も続く**とすれば、**ゆっくり工事を進める事は弊害、市民負担を減らすためにも早期化が必要**、また、市民負担(市財政負担)を回避するために、国の直轄部分増や有料道路事業部分の拡大(利用者負担の増)が望まれる。

大阪湾岸道路西伸部(六甲アイランド北～駒栄)位置図



今年も市長への予算要望を行いました

夏休みなど長期休暇のみ預かってもらう**学童保育について、来年度はより拡大**して取り組むこと。

昨年要望し**50か所**目標に整備しようとしたところだが、**結果実施できたのは20か所のみ、次年度はより拡大を。**その際、スタッフ確保のための予算確保、過密学童対策のために学校教室の利用、大学生等にジョブ型インターンとして助力してもらう等、様々な工夫をしてもらいたいと要望しています。



市内文化スポーツ少年少女応援のため、外郭団体等を取りまとめたスポーツ応援基金、ふるさと納税などの後援システムを整備すること。

市内のこどもたちが、**文化スポーツに取り組む事そのものや、選抜されて遠征する際などのための基金などを、市の予算ではなく、外郭団体や市内企業とともに整備**する事が必要ではないか? と要望しています。

高齢者の社会参加を促進するため、神鉄シーパスワン事業を更に充実させるとともに、敬老パスが使用できるよう取り組むこと。

高齢者の健康づくりなどのためには、やはりお出かけして頂く事が肝要です。**北区西区などにおいては敬老パスが使えないエリアが多くあり、地域による不公平が存在**する。これを解消するために、**神鉄などで敬老パスを使用できるように**と継続的に要望しています。

神戸北高校の合併後の跡地については、小中一貫校として利用し、学生のみならず地域の皆が集まれる場として、唐櫃地域の活性化の拠点とすること。

令和8年度末に廃校となる予定の北高跡地は、土地が神戸市のものである事などから本要望を達成するための合理性があります。そもそもの人口減に加え、北高廃校や市営住宅の再編などにより賑わいが減少してしまいます。これを逆手にとり活気ある街づくりの旗印とすべきと地域の皆様とともに要望しています。

障がい者等の入所施設について、現在の「障害者支援施設の居室面積基準」に準拠できていないものや、耐震基準に満たないものなどについて、建て替えなどを促進する取り組みを行うこと。

外国人留学生の国民健康保険の加入については、国民の健康保険料の増大や不正利用を是正するため、実態を国に情報共有し、国保加入の廃止など改善を要求すること。

他にも多数の事項について要望を行っています、今後も神戸市を活気ある街とすべく取り組みを進めてまいります。

市 政 報 告

神戸市議員
(須磨区)

松本しゅうじ (周二)

ごあいさつ

謹啓 皆様にはますますご清祥の事とお慶び申し上げます。
平素より格別のご厚情を賜り心より厚く御礼申し上げます。

本年は、阪神淡路大震災から30年の節目となり、震災復興議員としても8期30年を迎え、決意も新たに住民主体の市政で取り組んで参ります。

昨年は、能登半島地震による災害をはじめ、長引くロシアによるウクライナ侵略、世界各地の紛争、北朝鮮のミサイル発射、中国による台湾や沖縄尖閣諸島への脅威等々、日本の安全保障が脅かされています。早期に国民の生命財産を守る国防費の増大や自衛隊の明記、スパイ防止法などの憲法改正・経済安保が急務と考えています。

さて、昨年、令和5年度定例決算市会9月議会が行われ、神戸市一般会計決算は、社会保障費が増加した一方で所得の増加などに伴う個人市民税の増や「神戸市行財政改革2025」に基づく取り組みで実質収支は、15億1400万円の黒字。企業会計決算においても63億円の黒字を計上しておりますが、(神戸市バス1億5000万円の赤字・地下鉄は15億1500万円の赤字)となっています。今後の、人口減少と共に少子超高齢化社会での社会保障費関係の増大を見込むと神戸市財政状況は依然として厳しく、企業誘致や官から民への民間委託推進・事務事業の見直し・行財政改革等々、一層推進しなければなりません。

又、令和6年11月議会(12月)一般質問に於いては、年収103万の壁問題、神戸港関連企業への支援施策(賃貸料を含めた減免対策継続)、山麓バイパスの無料化、都市公園条例の改正などを質問・要望。オープンした須磨シーワールドによる経済波及効果に期待すると共に、地元地産の須磨海苔・須磨パール等への支援をすると共に、要望を実現した須磨海釣り公園オープンによる地域活性化・景気対策にも取り組み、文化スポーツ局には伝統文化振興による経済効果やスポーツ振興による体力向上、地域移行に向けた新たな中学校部活動対策への要望等々、令和7年度予算に向けた質問や要望を含めた政策提言を行いました。

今後も、産業労働人口の減少と少子超高齢化が進行する中、2024年問題での人材不足や物価・燃料高騰・為替の影響等々、グローバル時代の神戸経済も外的要因によって一層予断を許さない状況下となっていると考えております。

本年は、神戸空港の国際化(韓国便・台湾便・ベトナム便)によるインバウンド対策をはじめ、地元企業への支援施策、地域医療・救急医療施策の支援強化、地場産業・市場・商業への支援施策の拡充、シルバー人材活用と高齢者福祉施策の拡充、国際都市にふさわしい英会話教育推進とスポーツ・文化の振興による青少年育成、更には子育て支援施策を推進し、安心して家庭が持てる神戸にする為に引き続き住民主体の立場で多くの課題解決に向け鋭意取り組んで参ります。

今後も初心忘れず、神戸・須磨の為に住民主体の市政を貫き「須磨に生まれ、育ち、須磨に尽くす!」「明るく・元気に!」をモットーに地元出身のクリーンな市会議員としてその責任の重大さを認識しつつ鋭意努力して参ります。
尚一層のご指導・ご鞭撻を賜りますよう衷心より御願い申し上げます。

<ご家族皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。>



本会議で質問する松本しゅうじ市議

主な経歴

- 法務大臣表彰受賞
- 兵庫県自治功労者表彰
- 神戸市スポーツ功労者表彰
- 経済港湾委員会委員
- (財)兵庫県軟式野球連盟副会長
- 神戸軟式野球協会会長
- 公財・神戸市スポーツ協会評議員
- 少林寺拳法神戸連合会副会長
- 法務省・須磨区保護司会監事
- (社福)くすの木保育園理事
- 神戸市茶花道会顧問
- 神戸ユネスコ協会顧問
- その他

自由民主党兵庫県連合会役員
自由民主党神戸市連総務会長

神戸市議員 **松本 しゅうじ** (周二)

阪神・淡路大震災から30年を迎えて(ボランティア活動に!)



入院中の被災者の皆さんに、たこ焼き・ラーメンで支援する松本夫妻(野村海浜病院にて)くすの木保育園の皆さんと

元・海部俊樹総理大臣夫人と共に被災者支援する松本夫妻



地元中学校庭で炊き出しで支援する



体育館に避難する被災者の皆さんを見舞う



診療所ドクターに災害時医療の現状を聞く

障害者支援

第32回全国身体障害者野球大会 副会長の松本市議



大会優勝の香川チャレンジャーの皆様と共に



選手の皆さんにメダルを授与する

神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会



レセプション会場で増田明美大会組織委員会会長を激励する松本市議



ユニバ記念競技場で開会式に参加・関係院議員と共に



ご相談・問い合わせ先

■事務所 〒654-0049 神戸市須磨区若宮町3-2-2 TEL (078) 795-9069 FAX (078) 795-9090

神戸市議員

松本 しゅうじ (周二)

令和6年 9月市会決算特別委員会で質問する松本しゅうじ市議(一部抜粋)

神戸空港の国際化に向けた戦略について

【質】 大韓航空が先月24日に国際チャーター便の就航表明を行いました。仁川国際空港ということで、神戸空港の新たなステージということ、スタートを大変期待しております。

【答】 神戸空港の国際化に向けた戦略について、これからの将来のことについて御質問だと思います。将来的には最大で1日160回という発着回数を我々としては対応していく必要がございますので、まずは空港の基本施設でありますエプロンの拡張をしていきたいと。これを検討してまいりたい。また、議員と市民の皆様からも御要望のございますボーディングブリッジ、それから、ターミナルの在り方、これにつきましても、関西エアポート神戸、またエアラインなどと協議しながら検討を進めてまいりたいと思っております。

港湾局長

【答】 国際定期便の就航に向けた取組の方向性、これからの将来のことについて御質問だと思います。将来的には最大で1日160回という発着回数を我々としては対応していく必要がございますので、まずは空港の基本施設でありますエプロンの拡張をしていきたいと。これを検討してまいりたい。また、議員と市民の皆様からも御要望のございますボーディングブリッジ、それから、ターミナルの在り方、これにつきましても、関西エアポート神戸、またエアラインなどと協議しながら検討を進めてまいりたいと思っております。

【質】 神戸空港は2025年4月18日に第2ターミナルビルオープン。現況の国際チャーター便(就航予定先) *韓国大韓航空(神戸・ソウル仁川空港毎日往復) 2025年春 *ベトナム・ベトジェットエア(神戸発・ダナン空港・ホーチミン発) 神戸 4月30日から5月4日 *台湾スターラックス航空(神戸・台中・毎日往復・神戸・台北・毎週3便往復) 2025年4月

CONPASS本格運用後の展望について

【質】 ポートアイランドのPCR18コンテナターミナルにおいて、2024年9月27日より、神戸港で初となる新・港湾情報システム、いわゆるCONPASSの本格運用が開始された。ゲート前の以前からのリードタイムの短縮、いわゆる混雑の解消ですね。ドライバーの皆さんが大変御苦労されておられ、コンテナ輸送の効率化、生産性、そういったところで今期待しております。

【答】 今後は神戸港におけるCONPASSの効果検証を行うことは当然であると思っております。神戸港における本格運用後の展望、CONPASS運用開始後における利用促進に向けた調整会議というものが大変重要になってくるのではないかなと思っておりますので、それらの状況も含めて見解を伺う。

港湾局長

【質】 このCONPASSの効果、最大限発揮していくためには、今現在、まだPCR18でございますけれども、神戸港全体に利用者を拡大していくことが極めて重要であると考えております。まずはポートアイランドのコンテナターミナルPCR14から13への導入に向けて、関係事業者と協議を進めているところでございます。また、既に運用を開始したPCR18におきましては、ゲート前の渋滞状況の把握など、効果の検証を実施いたしますとともに、利用者の意見集約などを行いつつ、



決算特別委員会で質問する松本市議

より使いやすいシステムとなるよう、引き続き必要な対応については取り組んでまいりたいと考えております。

【質】 また、CONPASSの導入だけではなく、より一層効果を発揮するためには、ターミナルの生産性を向上させて、荷役の効率を上げていくことも重要だと考えております。これにはやはり民間事業者の協力が不可欠でございます。例えば、例えは阪神国際港に加入して、ターミナルのオペレーターと海貨事業者、また海上コンテナ事業者など多岐にわたる関係者や意識疎通を図りながら事業を進めていくことが重要でございます。例えばCONPASSで得られた情報を活用した事前荷役の最適化によるターミナル内荷役の効率化といった、ターミナルの業務全般にわたる生産性向上に関する意見交換なども行っております。

【質】 システムの導入の効果をコンテナ物流全体に波及させていくためにも、関係者との協議を継続していくことが不可欠であると考えております。引き続きこの効果を検証しつつ、神戸港全体にシステムが普及するように、国・阪神国際港と一丸となって取り組んでまいりたいと考えております。

内航フィーダーネットワークの強化について

【質】 神戸港においては、令和5年の内航コンテナ取扱個数は対前年比101.1%と、約64万4,000TEUとなり、国際コンテナ戦略港湾施策で集貨施策を継続して取り組んだ結果が表れていると評価している。特に内航コンテナも活用した集貨については、瀬戸内・九州エリアに加え、日本海側との航路も順次拡充と聞いております。今後の発展を期待しているところだが、内航コンテナ輸送を継続することによる競争力強化という点も、多数の船社による内航コンテナネットワークの競争力強化という点も重要と考えておりますが、御見解伺います。

【答】 内航コンテナのネットワークは神戸港の物流を支える上で非常に重要なインフラであると考えております。これまでの取組によりまして、内航コンテナの取扱個数は増加をしております。例えば平成26年であれば68便、現在は99便まで増加をいたしております。また、貨物量もこの10年で30万TEUから46万TEUに増加するなど、一定の成果は出ているものと考えております。

港湾局長

【質】 やりやうな状況も踏まえ、競争は激化している状況でございます。このような状況も踏まえ、まずは集貨支援のメニューを充実して、フェリーを含む内航船社、外航船社への支援に加え、瀬戸内・九州・日本海側の港湾事業者と連携をし、内航コンテナを活用して神戸港へ集貨を進める日本諸港利用促進事業を追加し、地元の港湾事業者とともにポートセーリングを実施できる体制を構築するなど、新たな取組を進めているところでございます。

【質】 現在、内航コンテナ船を保有し、運航ができる主要な船社は国内に3社ございます。我々としては、この3社全てが寄港していただいております。一定の支援もきちっと行っております。また、今後も可能な限り多くの船社と一緒に取組を進めていきたいと考えております。あと、最近では、西日本と日本海側の内航コンテナが主な集貨圏でございます。また、東海地方を発着する東南アジア向けの貨物を担う荷主も出ておられます。神戸港よりも東側の港もターゲットにしてネットワークの拡大を図っていきたく考えております。

【質】 また、内航船社が行う一般的なサービス以外にも、神戸港をメインポートとして外航船社が内航船の貨物スペースを確保して、外航船社のサービスの一環として内航コンテナサービスを展開する輸送形態もございまして、これについても、神戸港にはたくさん外航船がございまして、接続がしやすい、サービスが組みやすいといった意見もございまして、神戸港の1つの強みとして、サービスの拡充に取り組んでまいりたいと考えております。

伝統文化の振興・活用について

【質】 予算特別委員会で、海外クルーズ船に對して日本の伝統文化を紹介する取組ということで提案しましたところ、局長からは力強い回答いただきました。船内や船外で和太鼓演奏を行ったり、太鼓を体験できるワークショップを開催したりといった実績が積み重ねられていると聞いております。これについて、観光客とか旅行会社、もちろんクルーズ船、そういった関係者の反応はどうであったか、効果や反響について伺う。

文化スポーツ局長

【質】 予算特別委員会のときには、私も文化庁から委託を受ける形で実施した神戸っ子伝統文化体験事業を実施いたしました。生け花・茶道、それから書道・和太鼓、こういった4つの分野を中心に実施し、非常に好評だったということ、それから、体験した子供たちの発表の機会、合同発表会もできたということ、成果・ノウハウをクルーズ船の入港の歓迎などに生かさないかということ、御質問を賜って、ぜひ頑張りたいというところで御答弁をさせていただきました。この中で、私が重要だと思つていましたのが、昨年、実際にこの方自身が、クルーズ船の入港時の演奏とか船内の演奏会とかに出演されておられまして、クルーズ船会社にパイプを持っておられるということでした。

【質】 このクルーズ船に對して、自分自身がフィッシュダンス音楽練習場を利用した上で、昨年実施をいたしました生け花・茶道・それから書道・和太鼓などの伝統文化体験を神戸でさせていただきつつやっていただいております。クルーズ船に對してのおもてなし事業のプレゼンテーションは神戸観光局などが行っているが、早く茶道とか生け花とか、新たな伝統文化として体験を実施していただくのが一番効果的かと思っております。昨年の事業をベースとしたプランをダイレクトに御提案をいただいたりしております。

【質】 評価に関しては決して悪くないというように聞いております。私どもの局だけではなく、インバウンド向けのおもてなし事業をやっております。局を含めて、様々なプレゼンテーションの機会を通じて提案をして、進めてまいりたいと考えております。

スポーツ活動を推進できる環境づくりについて

【質】 人口減少が進み、特に集団で行うスポーツのクラブやチームの維持が難しくなっております。小学生や中学生のクラブチームの活動を推進し、支援していくのは行政の仕事だと私は思っております。指導者となる人材の確保が不可欠であります。ご父兄からは、少年野球なども地域スポーツクラブとして、又、バスケットをはじめ、いろいろなスポーツをやっておりますが、いずれも父兄からは行政や学校が関与しているというところに安心感と安全というところを感じており、そういった意味で、とても重要なことだと思っております。

【質】 そこで、神戸の特色ある教育を展開するという質問ですが、23の大学が立地し、約7万人の大学・短期大学が学んでおり、これまで神戸市でも様々な事業に大学や学生が参画してまいりました。大学等の中には、教員を養成する教育系の大学や外国語大学のように専門性を有する大学も多数あります。こういった大学が子供たちに指導するということ、これができれば、大学生にとっても、子供の指導や地域との交流を経験する貴重な機会となるべきであります。これらの大学等と連携することで、大学生をはじめとする指導者に登録していただき、クラブ等に派遣するようシステムをつくった上で、スポーツ活動の活性化を図っていくべきではないのか、見解を伺う。

文化スポーツ局長

【質】 子供のスポーツの指導者の担い手確保と育成、これは非常に大事なことであります。こういった活動について、大学の協力を得て、スポーツと教育を専攻する大学生などに参画していただくことも有効と考へます。具体的に、コベルコ神戸スティーラーズなどが実施するラグビー教室に指導者として甲南大学ラグビー部の学生が参画したり、あるいは、神戸学院大学が大学の中に総合型地域スポーツ・文化クラブというのを設置されて、小・中学生を対象とするスポーツ教室を開催されているというふうなことも聞いております。



高市早苗衆院議員に地元要望する松本市議

経歴
市) 若宮小学校卒業
市) 鷹取中学校卒業
市) 神戸西高校卒業
(現在・須磨翔風高校)
近畿大学商経学部卒業
衆議院議員秘書
(公設第一秘書含む17年間)
自治大臣秘書
国土庁長官秘書
神戸市議会議員・八期連続当選
神戸市監査委員
港湾交通委員会委員長
文教経済委員会委員長
福祉環境委員会委員長
大都市税財政特別委員長

現在の主な役職
法務省須磨区保護司監事
兵庫県野球連盟副会長
神戸軟式野球協会会長
神戸市茶花道会顧問
自由民主党兵庫県支部連合会役員
(社福法人) <すの木保育園理事
神戸市スポーツ協会評議員
近畿大学校友会常任幹事
神戸・学童軟式野球部顧問
少林寺拳法神戸連合会副会長
地元防災福祉コミュニティ顧問
地元ふれまち協議会顧問
地元自治会顧問
地元・市場商店街顧問

日本ケミカルシューズ工業組合相談役
兵庫県宅地建物取引業協会神戸支部顧問
ヴィッセル神戸を応援する市会議員の会
神戸市会防衛議員懇話会議員
兵庫県柔道整復師会顧問
名古屋ソフトボールリーグ顧問
関西女子野球連盟・オール兵庫後援会会長
神戸市私立幼稚園振興議員懇話会議員
神戸ユネスコ協会顧問
その他顧問団体多数
INAC神戸レオネッサを応援する市会議員の会理事
オリックスパワファローズを応援する市会議員の会

令和6年11月議会(12月) 一般質問する松本しゅうじ市議(一部抜粋)



本会議で再質問する松本市議

都市公園条例の改正について

質 本市の都市公園条例の第6条第1項第7号においては、指定された場所以外に車の乗り入れや留め置きを行うことが禁止されており、そのため、例えば、運動前後にグラウンド整備作業を行う際、トラクタを使って人の手で整備する必要がある、特に雨が降った翌日などは大変な作業が生じていると、活動主体が学校から地域の団体へと移行することとなっており、これまで以上に都市公園の利用者が増加することが予想されます。

久元市長

答 公園内への車の乗り入れや留め置きは、神戸市都市公園条例において基本的に禁止されているところでは、ただし、公園内の清掃や剪定・修繕など、市が行う管理作業については、利用者に十分に注意を払いながら、車の乗り入れを行っております。

これに加えて、地域行事における荷物の搬出入やキッチンカーなど、行事の内容を踏まえて安全対策を条件として、限定的に行方許可を行っているところでは、御指摘のグラウンド整備につきましては、公園利用者が安全で快適に利用していくためには必要な作業でありまして、これらの作業を行う方々におかれましては、特に凹凸が大きいときなど、人力での作業は大変な努力を要していると考えられます。このため、管理作業に携わっていただく方々の負担軽減の観点から求められますが、一方で、車を用いた整備は、公園利用者の安全面や法令面の懸念があり、慎重な対応が必要であると考えております。

今後、公園管理会が管理行為の一環として整備を行う場合などにおきまして、公園の適正な利用を前提に、一定の条件を設けた上で、現行条例での対応を検討させていただきたく存じます。

再質問

これは公園内への車の乗り入れとしまして、一般市では実は禁止されていないと聞いています。市民公園をスポーツの場として利用するに際しては、公園に設置されたことが行政の役割ということ、市長答弁から幾度か答弁いただいた。改めて条例を改正して市民・市民サービスの向上を図るべきだということをお伺いしております。

今西副市長

答 先生からもお話がありましたように、政令市では、一律に全ての自治体において、乗り入れに関しては禁止の規定を設けているという状況でございます。

お話がありましたように、今、人手でいろいろな作業をするということも大変な状況があるということもよく存じ上げておりますので、条件を付した上で都市公園内の行為許可として、許可ができないかということも考えているところでございます。

申請主体としては、原則として公園管理会に申請をいただきまして、そのグラウンド整備という、野球ができる程度のグラウンドという整備に限定した形で、車の使用というものを許可できないかということも考えているところでございます。

また、公園はいろいろな方が御利用される施設でございますので、その安全面の確保ということは大変重要だということも思っておりますので、作業時の安全面の条件などは付した上で許可をする方向で検討させていただきたい。

年収の壁問題について

質 年収が一定額を超えたと、所得税や社会保険料の負担が生じることから、パートやアルバイトで働く人たちの就業抑制を招き、

人手不足を深刻化させているとして、国における見直しの議論が本格化しています。いわゆる年収の壁問題への対応策として、基礎控除額の引上げが焦点となっているわけですが、地方へ波及する影響としては、個人市民税の大幅減額だけでなく、例えば、医療費助成をはじめとする各種制度の中には、控除後の所得金額等に応じて負担や給付水準を定めているものもあるため、基礎控除額の変更に伴う条例改正やシステムの改修といったところまで影響が及ぶと考えられます。年収103万円の壁については、先日、閣議決定され、引き上げる方針を経済対策の中に明記するとなっております。今後より議論が活発化していくのが、実現した場合の本市におけます財政上の影響をどのように考えているのか、御見解をお伺いいたします。

久元市長

答 御指摘いただきましたように、先月22日に閣議決定されました総合経済対策や29日の総務省説明会におきまして、いわゆる103万の壁につきましては、令和7年度税制改正の中で議論し、引き上げるという明記がなされました。現在、国におきまして、見直しの目的や財源など具体的な検討が進められております。神戸市では、個人市民税における基礎控除額が75万円引き上げられた場合、約35.4億円の減収があると試算をしております。個人市民税の減収の代替となる財源がなければ、義務的な経費を除き、事業の大幅な見直しが必要となり、市民生活に多大な影響を及ぼすこととなります。

さらに、御指摘いただきましたように、住民税所得割により、対象者や医療費の自己負担上限額を定めている医療費助成制度や利用者負担額を定めている保育料のほか、所得税や住民税の非課税世帯に利用、利用料の減免を実施している学童保育利用料など、各制度への影響が懸念されます。また、国の制度設計によりましては、条例規則の改正やシステム改修が生じる可能性があります。

神戸市をはじめ地方自治体の財政に支障が生じることがないよう、しっかりと要望を行っていきたく存じます。

要望

これは企業誘致や市民所得の向上、また企業もそれぞれ神戸市においての雇用対策としてつながっていく施策の中の一つです。恒久的に女性の皆さん方、学生さんの皆さん方の働き方がこれによって大きく変わります。今後、いろいろな調整の中で議論がそれぞれ関係省庁の中であるようでありまして、今回はやはり国会の中で審議をしっかりと踏まえて、先ほど申し上げましたけれども、市民に負担が及ばないよう、市長はじめ当局の皆さん方の御努力に期待をしております。

物流の円滑化に資する山麓バイパスの全線無料化について

質 神戸経済の発展のために物流のスピード化が非常に重要と考えられています。昨年の本会議では、海上コンテナ車の山麓バイパスの無料化について質疑したところ、今後の料金制度の在り方については、国や県関係者と協議を行い検討していくと答弁がありました。山麓バイパスは、西神地域から直接都心へ、また、東部方面へも短時間でアクセスできる便利な道路であり、物流をより円滑化していくためにも、無料化を求めている声は大きく、また、令和4年に兵庫区で発生したコンテナトレーラーの横転事故を受け、海上コンテナ車は山麓線において、新たな特殊車両通行許可が認められておらず、国道2号や175号への迂回を余儀なくされ、物流のスピードは大きく低下しております。さらに、燃料高騰や物価高騰に加え、人手不足等の問題が相まって、国際戦略港湾の推進を支える物流業界は非常に厳しい状況に置かれています。建設費の償還のために有料期間を延長するという目先の利益ではなく、神戸経済を支え活性化させていく物流網の確立のため、まずは物流を担う大型車両だけでも、先立つて無料化を実施すべきと考えますが、現在の検討状況と今後の方針についてお伺いします。

要望

この社会実験で大型IIの割引というところで、取りあえず満足させていたいただきたいと思っております。2040年まで景気がどうなるかわかりませんが、少なくとも、やはり我々は、利用者サイドからしますと、できるだけ無料開放の原則に従いまして物流による景気対策にも資するということも考えます。やはり全線無料化を早期に実施されるように要望しておきます。

今西副市長

答 この山麓バイパスは、神戸市の西区、北区と都心を結ぶ主要な幹線道路でありまして、物流においても重要なネットワークを構成する道路でございます。

道路公社が管理をいたします有料道路は、道路整備特別措置法によって建設されたものでございまして、料金徴収期間が満了すれば、本来、道路管理者である神戸市に移管し、無料開放されることになっていくところでございます。しかしながら、早期無料化することからは、現時点での多額の未償還額を市税により処理する必要があるため、今後、受託者負担の下、料金徴収満了まで、有料道路事業を継続すべきだと考えているところでございます。

一方、山麓線の兵庫区菊水町10丁目付近におきまして、過去2回発生した海上コンテナ車の横転事故を受けまして、海上コンテナ車に対して特殊車両通行許可を認めない運用を令和4年12月より開始をさせていただいておりますけれども、一般道における交通安全確保や沿道環境改善を図るため、山麓バイパスにおいて、海上コンテナ車を含む大型車両の通行料金を割引く社会実験を実施する予定でございまして、現在、国土交通省と最終調整を行っている状況でございます。これは、物流のスピード化にも寄与する取組であると考えているところでございます。

いずれにいたしましても、神戸経済の発展のためには、交通の安全対策などとともに、物流のスピード化は非常に重要であると考えておりまして、まずは、本社会実験の効果分析を行い、今後、道路管理者としても何ができるのか検討してまいります。

再質問

これは、大型車両の通行料減について取り組んでいただくことは大変評価をしております。大型IIの割引を検討中ということも非常にありがたいと思っております。

しかし、建設された道路については、無料で一般交通の用に供されるのが原則というようになっておりますので、我々市民サイドに立ちますと、やはり全線山麓バイパスの全線無料化すべきだということも思っております。次の延長後の御発言もございましたので、その後の償還期間をどこかにしっかりと決めていただいて、償還というところで一般財源も入れば、しっかりと無料化に取り組んでいただくというスキームはどうか。いつまでも有料道路のままでいいのか、田川川出口のところで常に渋滞を起こしておりますので、しっかりとこの辺りをよく考えていただきたい。このスケジュールについて、改めて検討を進めるべきと考えますが、見解をお伺いします。

今西副市長

答 道路公社が管理をいたします有料道路は、道路整備特別措置法によって建設されたものでございまして、料金徴収期間が満了すれば、本来、道路管理者である神戸市に移管をされ、無料開放となることになっていくところでございます。この山麓バイパスにつきましては、料金徴収期限が2040年ということになっておりますために、料金徴収期間の満了を迎えるまでは、受託者負担により未償還額を返還していくことが必要だということに考えているところでございます。

ただ、この神戸経済の発展のために、先生からのお話がありましたように、物流のスピードについても非常に重要だということに考えておりますので、まずはこの山麓バイパスにおける大型車両IIの料金を割引く社会実験を、我々としては進めてまいりたいと考えているところでございます。

港湾関連用地の賃料について

質 神戸港における港湾関連用地の賃料については、地区単価制とし、エリアごとに賃料単価が定められています。現在、燃料価格や賃料価格の高騰、人手不足等により、港湾事業者の方々も大変厳しい経営環境を強いられ、昨今の地価上昇傾向に伴い、このような港湾関連用地の賃料についても、今後、値上げされるのではないかと危惧しております。適正な賃料設定を行うことに対して、一定の理解はしているものの、神戸港の物流機能を担う事業用地であり、今後より深刻化しているもの、2024年問題の継続対応を考慮しても、従前より地元企業として神戸経済を支えていただいている方々に対しては、現行の賃料を据え置くことが望ましいと考えますが、見解をお伺いいたします。

今西副市長

答 神戸港の港湾関連用地につきましては、倉庫業や運送業など約500の事業者が土地を賃料を払い、神戸港の港湾物流に貢献いただくとともに、その賃料収入を神戸港の整備及び維持管理の貴重な財源として活用させていただいているところでございます。

開港以来は、市有地と国有地がありまして、市有地の賃料につきましては、神戸港内は12のエリアに分割し、賃料単価を定める地区単価制を採用させていただいております。

地区単価につきましては、これまで地価動向を踏まえて、阪神・淡路大震災以降は数回の見直し、いわゆる引下げを行ってきたところでございます。近年は急激な地価上昇が続いておりまして、また、港湾施設の整備及び維持管理経費も高騰しているため、地区単価が適正な価格の範囲に収まっているのか検証を重ねてまいりたいと考えているところでございます。

一方で、港湾関連用地は神戸港の物流機能を担う大切な事業用地であるため、地価の情勢だけをもって賃料を定めるのではなく、神戸港の活性化や競争力の確保のため、事業者や業界の声も聞きながら判断をしていきたいというふうに考えております。

一方、港湾関連用地の中でも、定期的に改定を行っている国有地の賃料や企業誘致のインセンティブとして期間限定で設定した特別賃料につきましては、適切に地価の動向に合わせて改定を行っていきたく存じます。

市有地の改定につきましては、地価の動向や神戸港全体の状況に注視して検討を進めてまいりたい。

過去に消費税を上げた為に景気が冷え込んだようなときがありましたが、大変厳しい中で今頑張っております事業者は、現状以上に固定費が上がることで廃業してしまうところもあるのではないかと業界からお聞きしております。港湾地区においては、大半が借地であり、値上げによるさらなる経営負担は、神戸港からの撤退を余儀なくされる中小事業者の廃業が増加する恐れがあります。また、値上げによるシャッフルの解約も出てくることで、違法駐車が増加なども懸念しております。改めて、阪神国際コンテナ戦略港湾として競争力強化のためにも、現状の賃料は据え置かれるべきと考えます。慎重に判断されるよう要望しておきます。



副市長に要望する海上コンテナ部会役員 皆様に(副市長室にて)

要望実現した須磨海釣り公園にて



プレオープンセレモニーにて



リニューアルされた桟橋



須磨海釣り公園プレオープニングでの指定管理者・山陽電車(株)上門社長さんと共に神戸活性化に期待する元経済観光局担当局長さんと松本市議

神戸須磨シーワールドオープン



待望の「神戸須磨シーワールド」オープンによる神戸経済・観光の活性化に期待する松本市議(株)サンケイビルCEO飯島社長さんと共に

マリニピア神戸オープン



三井アウトレットパーク「マリニピア神戸」オープンで古瀬所長さんを激励する松本市議と白岡市議

《活動の中から》 住民の多くの声を必ず市政に反映します。

スポーツ振興に!



全日本中学女子軟式野球大会優勝の神戸レッドガールズの皆さんを表彰・記念撮影する県軟式野球連盟副会長・松本市議(祝賀会)



神戸市長旗争奪少年野球選手権優勝の米田少年野球クラブの皆さんを表彰する神戸軟式野球協会会長・松本市議(三木防災球場)



KSBL秋季大会・松本しゅうじ旗争奪少年・少女野球大会優勝の長坂少年野球部に優勝旗を授与する松本市議(G7球場)



神明あかふじ米兵庫県ジュニア軟式野球選手権大会開会式に副会長として参加する県軟式野球連盟副会長の松本市議(G7球場)



神戸軟式野球協会会長として全神戸選抜軟式野球大会で優勝した(株)後藤回漕店チームを表彰・記念撮影する松本市議(G7球場)



全日本少年軟式野球神戸大会で優勝した神戸市立垂水中学野球部の皆さんを表彰する神戸軟式野球協会会長の松本市議(あじさいスタジアム球場)



大リーグ・ジャース大谷翔平選手から全小学校に贈呈された野球グラブ。学童野球を楽しむ子供達に夢とともにスポーツ振興に期待する松本市議



少林寺拳法神戸市大会で青少年育成をはじめ心身の鍛錬に励む拳士に激励挨拶をする神戸連合会副会長の松本市議(グリーンアリーナ)



ジャパンビーチゲームズ須磨2024が地元・須磨海岸にて開催。オープニングセレモニーで元全日本男子ビーチバレー五輪代表・参院議員の朝日健太郎さんと共に参加する松本市議

社会奉仕に!



「社会を明るくする運動」の総理大臣メッセージを市長に伝達する市長と神戸市保護司会の皆さんと共に須磨区保護司の松本市議(市長室)



神戸ユネスコ協会の顧問として活動支援を神戸市地域協働局長に要望する中島理事長・役員と松本市議(局長室)

平和活動に!



沖縄平和記念公園・島守の塔にて沖縄県元知事の島田勲氏(須磨区出身)。慰霊碑に参列する松本市議



海上自衛隊70周年・護衛艦摩耶の船上にて体験航海する神戸市防衛議員懇話会の松本市議

地場産業に!



日本ケミカルシューズ工業組合「くつ子まつり」事業に支援する組合相談役の松本市議・組合河野理事長さんと共に(鉄人広場にて)



「KOBESUMA PEARL」養殖真珠を支援・すまうら水産の漁師さんを激励する松本市議(須磨浦漁業組合加工場)



神戸水産物卸協同組合主催の「お魚感謝祭」で鯛を放魚する山本理事長さん。式典で挨拶する松本しゅうじ市議(神戸中央卸売市場にて)

高齢者福祉に!



白川台の敬老会で挨拶する・高齢者福祉に取り組む松本市議



須磨区老人クラブ連合会主催のグラウンドゴルフ大会で「健康長寿と親睦」と激励挨拶と始球式をする松本市議

子育て支援に!



くすの木保育園運動会に参加・子育て支援に取り組む理事の松本市議



県営地建物取引業協会神戸支部設立記念祝賀会に参加。西口支部長さんと共に・顧問の松本市議(ANAプラザH)



第89回神戸奄美会定期総会で挨拶する松本市議(新長田文化センター)

地域活性化に!



南須磨連合自治会盆踊り大会で顧問として挨拶する松本市議(地元公園)



地域活性化にも資するフラダンスチーム「ハレスマ」の皆さんを激励する松本市議(須磨海岸にて)

伝統文化に!



「年末助け合い茶会」で神戸市茶花道会の顧問として参加協力する松本しゅうじ市議(長田神社にて)

防災対策に!



災害対策や避難施設での活用コンテナを利用したホテルを他都市で視察する松本市議



板宿防災訓練にて神戸市看護大学・神原教授さんと共に避難用テント・ベッドを視察。体験する松本市議(板宿小学校)

環境問題に!



ポートアイランド南のコンテナ専用道路に不法投棄によるゴミの山。トラック協会海上コンテナ部会の皆さんと共に清掃活動する松本市議

